

食物アレルギー 小学校 入学 準備 マニュアル

はじめに

ご入学おめでとうございます。

お子さんにアレルギー疾患があると、給食のこと、学校内生活のこと、校外学習のこと等いろいろとご心配のことでしょう。

保育園や幼稚園では、保育士や教員がお子さんのサポートをしてくださっていたことと思いますが、小学校は教育の場ですので、基本的には、「自分のことは自分でする」自主性を育てる場でもあります。

アレルギー疾患があっても、お子さんが自分のからだについて理解し、お友達や先生に説明をしたり、自分のことは自分でできることを目標に入学準備を進めましょう。

新学期は担任の先生をはじめ学校側は大変多忙になります。お子さんのアレルギー疾患について、正しい情報を学校に伝え、緊急時も含めて的確な対応をしていただけるよう必要最小限のお願いをしましょう。

そのために、このマニュアルをご活用ください。

〈NPO法人千葉アレルギーネットワーク作成平成27年11月〉

まず準備すること

現在のアレルギー症状の有無、程度の確認

アレルギーの専門医に入学前から受診することをおすすめいたします。(1年以上前にかかるとよいでしょう)

アレルギー専門医は日本アレルギー学会のホームページで都道府県:千葉県 専門:小児科医を指定して検索出来ます。

※入学までに喘息についても確認しておく(喘息症状の既往がある場合は、発作時の手順を主治医と確認しておきましょう)

参照URL日本アレルギー学会: http://www.jsaweb.jp/modules/ninteilist_general/

1 就学時健診・入学説明会

アレルギーの申し出と面談の申し込み

就学時健診や入学説明会の際に「アレルギー疾患がある」事を申告します。

この時、教頭・養護教諭など窓口担当の方に面談の希望があることを伝えましょう。

先生方は4月に異動する可能性もあり、ほとんどの場合、面談は入学後になります。

入学式～給食開始前までに面談すれば、十分間に合います。

この時点では申し出と面談希望があることをしっかりと伝えることが大切です。

学校側に準備があれば、ここで書類をもらい、面談時に提出できるように準備を進めましょう。

2 準備するもの

学校から提出を求められるもの

- ① 学校生活管理指導表(医師記入)

アレルギー対応を希望する保護者は「学校生活管理指導表」を必ず提出することになっています。

用紙は学校にあります。

文部科学省 学校給食における食物アレルギー対応指針(参照)

- ② 食物アレルギーに関する調査表(保護者記入)など学校からの書類

4月入学後の場合もあります。市町村により形式が異なります。



3 入学直後にすること・面談の方法

入学式～給食開始前までに面談をしていただきます。書類の提出はこの時に行うのが望ましいです。

面談は、学級担任・教頭・養護教諭・栄養指導教諭と正確な情報の共有をお願いする場です。

管理指導表と下記のポイントをふまえた自分でまとめた文書を利用して面談しましょう。

面談時に共有したい情報のポイント

① 緊急時対応

発作時の対応手順についての確認、緊急連絡先の優先順位・救急搬送先のお願い
エピペンの所持管理について

② 給食のアレルギー対応

除去食・代替食・完全弁当持参・一部弁当持参について

③ 学校生活上の留意点、保護者の要望等

給食当番、掃除など 学校生活上の相談

1学期の行事の確認とその際の対応について

2学期以降の行事や新たに加わる行事などについては事前に連絡をもらい、その都度相談していきたい
とお願いしましょう。

④ クラスメイトへの説明のお願い

学校は全員が同じ事をする場が多い集団生活です。その中で例えば給食で代替食やお弁当の友達が
いれば疑問が生じるのは当然のことです。そんな疑問に答えるために、担任の先生からクラスメイトへ病
気への正しい理解をしてもらおうお願いをしましょう。子ども達は疑問がなければ自然と仲良くできる
ものです。絵本やDVDなどもありますので、下記をご参照ください。



■ 患者会からのアドバイス ■

子どもの事について(特に病気の事)の話をする、私達母親はどうしてもいろいろな思いが強くなり、伝える必要のある事がぬけたり、伝わりにくかったりします。面談の前には伝える情報を自分なりにまとめて書き出しておきましょう。(メモ書きでも大丈夫です。)面談時には、その用紙を利用しながら話を進めると良いでしょう。話しをするのが苦手だったり感情的に難しい場合には、父親に話をしてもらうこともとても有効です。

学校・保護者・医療機関が連携し、食物アレルギーを持つお子さんが学校生活を笑顔で楽しく過ごせることを願っています。

4進級するとき

新学年度ごとに管理指導表を毎年提出します。それをもとに面談のお願いをしましょう。

■ クラス替えをしなくても毎年、学校との打ち合わせをお願いしましょう

学年が上がると家庭科や宿泊学習など食べ物に関する行事も増えてきます。

■ 毎年、新年度には先生からクラスの子も達に食物アレルギーの話しをしていただきます

持ち上がりのクラスでも毎年子ども達は成長していきます。年度の始まりに確認の意味でもアレルギーのことを考える時間を持ってください。子ども達も特別な対応ではなく、必要なことだと理解しやすくなります。

参考:「Everybody HEROES」

ファイザー <http://minnahero.jp/>

授業を支援する特別キットを、無料で借りることが出来ます

絵本「ちかちゃんのきゅうしょく」かもがわ出版

何か不安なことがあった場合は千葉アレルギーネットワークにご相談ください

